

2015年1月19日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086
神戸市中央区磯上通 7-1-5
www.lilly.co.jp

EL15-03

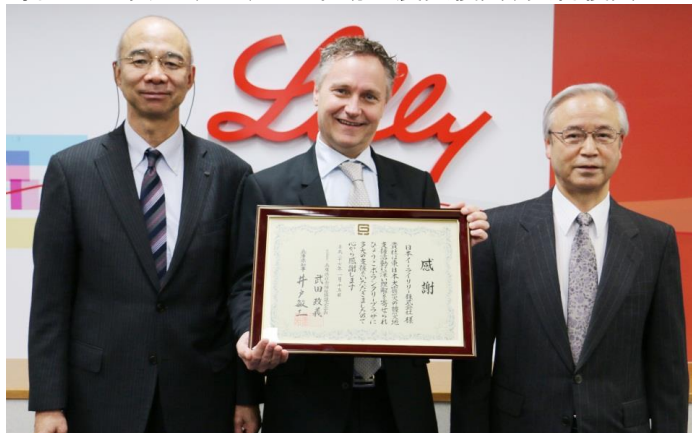
社内チャリティウォークで被災地を支援 「社会福祉法人 中央共同募金会」と「兵庫県社会福祉協議会」に寄付

日本イーライリリー株式会社(本社:神戸市、代表執行役社長:パトリック・ジョンソン)は、社内で実施したチャリティウォークや地域貢献活動で募った 3,525,000 円を、「社会福祉法人 中央共同募金会(赤い羽根共同募金)」と、ひょうごボランティアプラザを運営する「兵庫県社会福祉協議会」に寄付をしたことを発表いたしました。

このチャリティーイベントは、リリーがグローバルで実施している地域貢献活動の一つです。日本ではチャリティウォークとして、あらかじめ参加登録をした社員が 2km 歩くごとに、会社が 1,000 円のマッチング寄付を行っています。2014 年度の活動は 10 月 1 日(水)から 20 日(月)にかけて実施され、のべ 2,337 名の社員が参加し、ウォーキングの総距離は 6,398km となりました。ウォーキングでは、道中のゴミ拾いを行うなどコミュニティ活動もあわせて行われました。本年の活動での募金の総額は、3,525,000 円となりました。

今回集まった募金は、東日本大震災の震災復興に加え、豪雨による土砂災害に遭われた広島の方たちのために役立てて頂くため、1,762,500 円ずつ、「社会福祉法人 中央共同募金会(赤い羽根共同募金)」と、ひょうごボランティアプラザを運営する「兵庫県社会福祉協議会」に寄付いたしました。2015 年は阪神淡路大震災から 20 年を迎える年です。寄付金の一部は、ひょうごボランティアプラザ主催で 1 月 16 日から 17 日にかけて行われる記念行事で、東日本大震災の被災地の皆さんを兵庫県に招へいし、震災 20 年目を迎えての思いと学びを伝えるイベントで使われました。

今回のチャリティーイベントについて、日本イーライリリー株式会社代表執行役社長 パトリック・ジョンソンは次のようにコメントしています。「今回のチャリティーイベントでは、大きな自然災害に遭われた方々を想いながら、全国各地の多くのリリー社員が参加しました。阪神・淡路大震災から 20 年が経過しますが、震災を経験したりリリーにとって、このイベントは単なる地域貢献活動ではなく、震災の記憶を一人ひとりが胸に刻む特別な活動となっています。ささやかな寄付ではありますが、この活動が震災復興、災害復興の一助となれば幸いです」



今回の寄付に対し、兵庫県社会福祉協議会様より感謝状をいただきました。
中央は日本イーライリリー株式会社代表執行役社長 パトリック・ジョンソン。

日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、イーライリリー・アンド・カンパニーの子会社で、本年設立 40 周年を迎えます。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じて日本の医療に貢献しています。統合失調症、うつ、双極性障害、注意欠如・多動症(AD/HD)、がん(非小細胞肺癌、膵がん、胆道がん、悪性胸膜中皮腫、尿路上皮がん、乳がん、卵巣がん、悪性リンパ腫)、糖尿病、成長障害、骨粗鬆症などの治療薬を提供しています。また、アルツハイマー型認知症、関節リウマチ、乾癬、高コレステロール血症などの診断薬・治療薬の開発を行っています。詳細はホームページをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>